

発行/平成3年2月15日 No.21 えひめ地域づくり研究会議 関愛媛県まちづくり総合センター

特 集落づくり未来戦略 集 ●大自然の中で思う事 野村町/黒河正高……2 ●佐礼谷やらいで会 中山町/亀井慎滋 4 ●生活の息吹を感じる商店街づくりを 松山市/銀天街……… 6 ●モット、モット柏を育てる会 内海村/松本安司……8 VA大久の目指すもの 瀬戸町/濱松為俊……… 10 ●平家落人の里、頼母子講の集落 川之江市/切山地区 …… 12 研修レポ ・地域づくり先進地交流研修…… 14 (栃木県茂木町・東京都墨田区) ふれあい広場 リレーでちょっトーク 八幡浜、川之江から……… 18 ・インフォメーション……… 19 ・パソコン通信/TOWN タウン…… 20 研究会議 News Letter 地域づくり学んで三年 よもやま話ノート 宫本俊------21 ネットワーキング集会………… 23

研究会議からのお知らせ………… 26

まちづくりネットワーキングえひめ

声たうん

vol 21





自然の 思思

業は、酪農、そ菜、観光から成り 自然に包まれた地域です。主な産 海抜千mの四国カルストの雄大な 大野ケ原は、愛媛、高知の県境、

黒 野村町 河 正

高

です。

始めまして、私は大野ケ原を愛

何にでも興味を持つ、酪農家

先づは、地域の紹介をします。

経過を述べます。 に行なって来た大野ケ原の をよく耳にしますが、実際 域づくり…」と言う言葉 立っています。最近、 地地

〈経過〉

今は、素晴らしい景観を

出来ない、自然と己とのすさまじ 開の原野に、昭和二十五年、二十 まれた頃も開拓苦難の時代で、「無 い戦いがあったようです。私の生 来た訳ですから、我々には想像も 来ました。無の状態で飛び込んで 理想郷を胸に、各地から集まって 秘境の原野でした。その未 生林と熊笹におおわれた、 才代の若者達が、新天地を求めて していますが、当初は、原

的に考えま

話し合いによる、意識の統 を持ち研究努力

にも、大切な心だと思います。 が出来たのだと思います。 言葉ですが、現在でこそ何をする それらによってこの地域づくり 根性、努力、最近失われた古い

見て育った!」と言っても、過言 我夢中で働いている、両親の背を ではありません。

来得たのは、何故だろうか?個人 野から、この様な新しい集落が出 在の村作りが出来ました。あの原 と努力で、僅か四十年余りで、現 そんな大野ケ原も、先人達の汗

すと、 無我夢中

地域に根 の生命力

ざした開

忍耐力 拓魂 集団的助 け合いと

たえず夢 来る。

るまでは、深刻です。 ております。しかし、百%解決す しており、若嫁さん達もがんばっ 強みです。花嫁問題も除々に解決 各家庭に、後継者が居る事が、

後を継ぐ不思議な魅力とは… さて、一度外へ出た人も、必ず 。所得が高く、生活が安定して

。自分の経営が思い通りにやれ いる。

。広大な土地を所有している。 る。

大自然の中の解放感

同世代の仲間がいる。

家族全員で、共通の仕事が出 夏忙しく、冬ゆとりがある。

の時代だからこそ、重要なのでは ないでしょうか? そうすれば、 また、家族で理解し合う事は、今 れ、自分の職業を子供に手伝わせ、 は、農業であれ、どんな職業であ などでは、ないでしょうか? 特に、家族共通の仕事と言うの

家庭内の会話も出来、職業的軽視

/現状/

特/集落づ

いている物です。
いている物です。
な姿は、生涯、子供の目に焼きつる姿は、生涯、子供の目に焼きつ

をの受入れ実習を行いましたが、 達の受入れ実習を行いましたが、 接し、目が輝き出したのが、強く 接し、目が輝き出したのが、強く 接し、目が輝き出したのが、強く おし、目が輝き出したのが、強く でいた子供達が、動物や大自然に は、ままの子供らしさっていいと思いままの子供らしさっていいと思います。

〈未来感〉

切にする風潮も見られる様になり集団的活動から、個人の生活を大時代でしょうか。大野ケ原も、



ましたが、それはそれで、やりやましたが、それはそれで、やりやまり、地域全体が一致団結して 解決して行くのは、良い意味での が、地域と違うのは、只地域に 住んでいるんじゃなくて、そこに 住んでいるんじゃなくて、そこに 住む一人一人が、地域を作っています。

識があると思います。

、大野ケ原は、四国の大野ケ原は、四国の大野ケ原は、四国の大野ケ原はがあると思います。

、地球的発想で守られたと言なく、地球的発想で守られたと言います。

、地球的発想で守られたと言います。

今、大野ケ原は、様々な事に挑戦し、試行錯誤の連続です。まだ まだやり方次第で、可能性のある まだやり方次第で、可能性のある まだやり方次第で、可能性のある は残るか?地域づくりが出来るか?

でありたいと思います。を失った人々が楽しめる大野ケ原で、もっと住みやすく、また自然の時代の人々に残す事を前提にしの時代の人々に残す事を前提にし

で読書、こんなに住みやすい所なずり回り、冬はのんびりとコタツ



情報発信したいと思っています。りませんが、また機会があれば、カリしています。まだまだ書き足のに、知名度が低いのには、ガッ



本物の地域づくりをして来た、

ある土地ですが、先人達の夢を引大野ケ原の将来、 そんな可能性の



佐礼谷やらいで会



読むの? という方にまずは自己 『佐礼谷』何処にあるの?何て 者だけで話し合う機会があり、 りました。地域づくりについて若 活動には参加していない状況であ 無く、ほんの一部の人以外は地域 あります。当時青年団は解散して が発足したのは、平成元年八月で 市への通勤者であります。 すので、若者の多くは松山や伊予 この地に『佐礼谷やらいで会』

少の一途で、平成三年度の小学校 化の真最中であり、子供の数は減 ります。ご多分に漏れず現在過疎 ら約二五㎞で車ですと四○分程で す。さぞや山奥の地域だろうと思 現在)の山間地の小さな地区であ 東北部に位置し、人口一、〇九 われるかもしれませんが、松山か 入学は僅かに六名の予定でありま 人、三〇三世帯(H・三・一・一 『サレダニ』は伊予郡中山町の ております。 う理由だけで事務局を仰せつかっ 会員の中で一番暇そうであるとい 会の名称・会長・役員も決まり み六○名でスタート致しました。 戦後生れの人に呼び掛け、男性の 論も出ず後日引き続き会合を持ち 晩じっくり討論致しましたが、結 した。ご紹介が遅れましたが私、 この会が発足した次第であります この際グループを作ろうとの事で 。佐礼谷やらいで会』は船出しま

> べさせていただきます。 これからやろうとしている事を述 らいで会』が独自に行ってきた事 角の機会ですので我々『佐礼谷や が、これから本題に移ります。折 自己紹介が大変長くなりました ◎やらいで会の活動

おりました。 はできたが今一盛り上りに欠けて ラリーマンの内六割以上が他町 ないのであります。それに加えサ 営業であり、共通の手段が見出せ 残りの一○%ずつが専業農家と自 と言うのも、先程述べましたが、 み方法がなかなか決まりません。 段階で会としての方向性・取り組 のですが、具体的に実践していく のままではだめだとは解っている の通勤で時間的にも制約され、会 会員の内八○%がサラリーマン、 地域づくり・活性化について今

ル』であります。準備期間はわず たのが『美味しんぼフェスティバ ら、手作りのイベントをやってみ よう!』の声が上り、しぶしぶの 人もおりましたが、初の事業となっ そんな中、『失敗してもいいか

今年も九月中旬に行いますので、 目も一歩踏み込んだ内容で大成功 どこかの二番煎じの部分もありま 是非ご来場下さい) 『美味しんぼフェスティバル』は たものとなっております。(この り、三回目以降多くの課題を背負っ の目的からはまだ程遠いものであ でした。しかし、本来のイベント な収穫がありました。昨年の二回 域の人が協力してくれた事等多大 た事・会の一帯感ができた事・地 したが、全員が燃えてやってくれ かに一ケ月であり、又内容的には、

4

◎地域課題の対策と対応

ります。この問題が解決すれば活 性化はほぼ出来たようなものであ し迫った問題点に子供の減少があ 冒頭申しましたが、佐礼谷の差 重要な困難な問題です。

す。幸い松山へ通勤可能ですので 持つ出身者を呼び戻すのがありま る出身者に帰ってもらう方法であ 松山周辺にアパート暮しをしてい 短期的な解決方法には、子供を

り組んだのが、出身者名簿の作成 そこでまず『やらいで会』で取

介しますと、 くない、できない理由を一部で紹 りました。その中でUターンした な意見が聞けた事は大変参考とな 同窓会の中、及びアンケートで色々 成果がでておりません。しかし、 おりましたが、なかなかすぐには 良さを再認識してもらい、Uター 流の中で佐礼谷の現状を理解し、 ンしてくれればとの期待を持って

- ・きたない家には住みたくない
- 親との同居はしたくない
- 日曜日遊んでいると罪悪感を感
- ・峠を越えての通勤はおっくう
- ・遊ぶ所がない

ます。 の建設を行政・議会等に働き掛る 意見を基に、若者向けの住宅団地 等々がでております。このような 方で入居希望者を調査中であり

もう一点の悩みは、

地域の特産

しました。地元の者と出身者の交 昨年戦後生れの合同同窓会を開催 おります。次にその名簿を基に、 基に取り掛り、今七割方完成して であります。小学校の卒業名簿を

ど紹介できればと思っております。 索中であります。将来この紙面で 協力でやれる範囲のものを現在模 せん。勤めのかたわら、奥さんの おり、何かはやらなければなりま も会員のほとんどは田畑を持って て行きます。しかし、狭いながら 圏でありますので安易に勤めにで しい環境であり、又松山への通勤 少なく、専業農家ではなかなか難 品がない事です。 山間地で平地は

◎住みたい村を目ざして

のない会ではありますが、活動し これからであります。小さな・力 ていく中で一人でも多くの方が して二年たらずであり、まだまだ 『佐礼谷』に住んでみようと思え 『佐礼谷やらいで会』は、 結成

る所になるよう頑張ってま いります。

流会や、御指導いただける がほとんどありません。交 グループ等ございましたら の交流、意見交換する機会 会員の大半は他町村の方と 最後になりましたが、我々

よろしくお願いいたします。









生活の 息吹 感じる 店街づくりを 商

松山市銀天街

話いただいた。 街の隆盛にかける戦略と想いをお ゆみない取り組み、さらに、商店 う人々の伺い知れないで努力とた り、悲喜交々の人間模様が交錯す るところである。商店街を行き交 そこには、地域住民の暮らしがあ 丸三書店社長の井門照雄さんに、 る第二商店街振興組合理事長、又 ドと看板と音楽とカラー舗袋の町 てお伺いした。商店街といえども 銀天街の暮らしと未来戦略につい の銀天街の活性化に尽力されてい 銀天街」へ向った。今日は、こ 県都松山市の中心部、アーケー

◎商店街の暮らし

舗の上で生活している。まとまり 街は、まだ七五%程度の店が、店 えられている。幸いに、この銀天 今後さらに増えると井門さんは考 もうける方を選ぶ商店主も現れ、 商売をするよりも、土地を貸して 坪二千万円とも言う。こうなると 一〇〇万円ということで、売値は 今では、この地域の地価は、in

> いないと愛着がな は、そこに住んで 易いと言う。地域 があり、話ができ

- Fo - Fe B - F

された。 提でものを考えなくなると、力説 先していくと、生活すると言う前 の論理と言うか、都会の論理が優 増えるだろう。金による押しつけ で地域の生活者でない人がもっと 地域のことは考えない。ここ数年 来る。そういう人や資本は、その ない人が入って来る。都会の大手 者でなくなる。そこに、生活者で とは、暮らす足元がなくなり生活 るのは売るである。売ると言うこ くなる。その土地を貸すと次に来 資本が入り、地域の生活が狂って

ることも考えるべきだと。 業地区というようにゾーンを分け は、ビジネス地区、行政地区、 とさらに指摘された。そのために 市機能は必要ない。住居と一体化 いい。住居を排せきするような都 、高層化)した住商隣接型がいい。 そういうことをトータルに考え 「松山の街は五十万都市で

けば、統制のとれない街になっ てしまうとも話された。 個人個人に商店をまかせてお

◎商店街の組織

発に展開されている。 ながら、さらなる振興戦略も、 顧客サービスの向上を念頭におき 私設トイレの設置等、たゆみない ろんアーケードの新設、キャプテ ながら、今日に至っている。もち ニティづくり活動などをおりまぜ 割を果たしている。いい意味での もとより、社会生活や地域への役 の巣のように連携しながら商売は たっている。これらの組織がくも 業部会、婦人部会と多岐にシステ 防部会、青年部会、厚生部会、 販売促進部会、駐車場委員会、 活発に動いている。総会、役員会、 競争原理と、共存共栄を図るコミュ ム化し、商店街の円滑な運営に当 設営繕部会、広報・神社部会、 わう銀天街、それを支える組織も ンシステムの導入、協力店による とはいえ、多くの買物客でにぎ

調査研究などソフト面の充実を図 備が始まっている。 を、また、L字地区の再開発と準 付ける。まつちかにエスカレーター るとともに、ハード面の整備とし を進めたり、ビジョン委員会での は、共同で販売促進の方策の検討 道を含め、この中央商店街連盟で て、銀天街と大街道の境に屋根を 銀天街を始め、まつちか、大街 ◎サービス向上の未来戦略

TVの導入や、現在の路面タイル をすべりにくいものにやりかえる 街をと言うことで、商品情報やイ ことも考えられている。 ベント情報などの発信を行うCA さらには、家族で楽しめる商店

を考慮した音色を流すな く朝昼晩の人々の気持ち 同じものを流すのではな をつけ、目にやさしい明 明るさにマッチして強弱 るさに、 B G M も 一 日 中 る環境づくりと言うこと ついても、目と耳に訴え で、光については、外の 又、商店街の音と光に

> た。 どの試みもしたいとのことであっ

くだろうと言っている。 将来郊外型へほとんど移行してい 着型をと標ぼうされている。しか 銀天街を、生活に根ざした地域密 ◎私見「商店街」の方向 井門さんは、街の中心部のこの 別の店主の方は、商店街は、

キラキラしたネオンとミュージッ ドがあり、カラー舗装がしてあり、 感じられる、街である。アーケー こは、松山の中でも都市的魅力が

クが交錯する晴

と続く、この松山中央商店街、こ

まつちか――銀天街

大街道

れの場であり 私など松 ます。片 街へ行く 山の銀天 んでいた 田舎に住

> は、今、 出かけたもの でした。



照雄さん

ここでは、 日常生活とは一味違う、

華やかさとか雰囲気を求めて来て その家族のことなどに関心をもつ ろん、ここに生活を営む商店主や いるように思えてならない。もち 人は、ほとんどないだろう。

それを生かして、商売に結びつけ やかさを楽しむ、与えられるとこ を外に発信しながら、あるいは、 ろであり、そのアイデンティティ も、場所としては、これらの人々 られる」ことを根底にすえながら にとっては、非日常の娯楽性や華 おっしゃった「生活の息吹が感じ 未来戦略としては、井門さんが

頼を着て

といった

園ショッピングゾーンをめざして 友達と来て、楽しく遊びながら買 町通りとの間への公園化構想など えられることの相互作用を念頭に、 い物ができる、いうなれば住遊楽 家族で来て、あるいは恋人と来て 街づくりや商店街振興戦略を推進 していただきたいと思う。 ていくといった、与えることと与 将来計画として、すぐ南の柳井

(取材/山本)

づくりにさらに精励されんことを

とショッピングの中核として、街 いるとのこと。県都松山市の観光



役割りは大きいものです。

村おこしにはお年寄りの方々の

(昔おどり) の太鼓唄おはやし等

がぴったり。

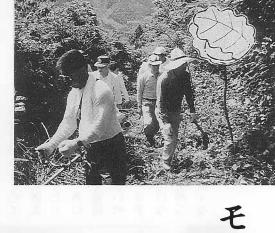
男性の方にはさすがと言う言葉

地域に伝わる祭り事や盆踊り

になりました。

老人クラブの皆様に大変お世話

亀の甲より年の甲



セット モット

内海村

松本安司

○ 日老いてよりよろこぶ孫のの指導。昭和六十年には村おこしの標語を募集しました。八十四点の標語を募集しました。八十四点た。

るでしょう。

言う声を耳にして、もう十年はな

県下各地で村おこし町おこしと

年を迎えました。

明日の柏を育てよう

皆の力と人の輪で

私達の柏を育てる会も今年で七

山の神様の復活、お田植祭り⇔対象では、おいんで、おいれば、大がまた帰りなくなるよいんで、おいれば、大がまた帰りなくなるよいんで、大がまた帰りなくなるよいもで、大がまた。というない。というない。

を合言葉に、三世代で夢中でとば

した頃を思い出します。

柏坂へんろ道の作業等。

おられます。おられます。おられます。

、女性の方は思いやり、ぬくもり、きくばりと言った暖かさが身について居られます。 世の手本仰ぎて 己が範となさばやの音を思い出します。

ご協力有難う

こし ソング

ます。フィナーレは手造りの村お

役です。 も子供達です。お田植え祭りは主り上げてくれるのは、何と言ってり上げてくれるのは、何と言って

良いのでしょうか?
は、何に例えればで、かすりの着物に紅だすき、子で、かすりの着物に紅だすき、子様楽(越天楽)の曲の流れるなか

員参加して汗を流してくれるのでがにぎやかに収穫のよろこびを全えてくれました。ま子供達えてはれました。

なりました。今年はどんな出し物 昔おどりの復活で大変にぎやかに のはいかである。

子供も大人も全員参加で燃えているです。太鼓を打つ人、踊る人、みです。太鼓を打つ人、踊る人、がでるのでしょうか?

輪になって踊り続けるのです。「もんてこいよ」の曲に合せて、



特「集落づくり

平成二年の感動

○ 一本足のカカシもふっ飛ばされた一本足のカカシもふっ飛ばされた一本足のカカシもふっ飛ばされたが、台風の直 がで稲は倒れ、豊作を願って作った一本足のカカシもふっ飛ばされたしと

を精米しました。日の為に前もって稲を刈り、モミ日の為に前もって稲を刈り、モミ

子供達に、とれたてのお米でおら生活改善グループ(あじさい)の方々に準備をしてもらいました。の方々に準備をしてもらいました。の方々に準備をしてもらいました。にぎりは純白でキラキラと光ってにぎりは純白でキラキラと光っています。

おにぎりを運びます。
けあぜ道に腰をおろした子供達に、りあぜ道に腰をおろした子供達を終めず道にからながら子供達があるが、

すらと涙が見えました。そして会マイの連発に会長さんの目にうっ子供達はにっこり。ウマイ、ウ

よかったと大感激。長さんはやってよかった。ああ、



ないと連絡がありました。 台風十四号の襲来で道は大荒れ、台風十四号の襲来で道は大荒れ、

ンソーの五・六台と草刈り機の機のの一鋸や鎌では作業にならん、チェーナ

ると話以上の被害におどろきまし

三・四人でパトロール登って見

九月三十日午後作業にかかる、九月三十日午後作業にかかる、九月三十日午後作業にかかるの清水大師様まで頑張りました。でした。全員汗だくで何とか予定でした。全員汗だくで何とか予定でした。全員汗だくで何とか予定でした。全員汗だくで何とか予定がの日暮は早い、山を下りた時

明日も、たのみます。
みなさん、今日は有難う。
に書きました。

ます。会長さんの目には涙が光っ上げました。全員で大拍手を贈りたの方を向いて両手を明日も、たのみます。

平成三年の夢二つ

て居りました。

ああふる里は ふれあう町 超い出たどれば はずむ唄 お茶をすすめて ひととき過します ひととき過します

道、夏は野鳥の声で賑わっていまれ、夏は野鳥の声で賑わっている柏坂越えへんろ道相坂越えへんろ道に見ています。

の森として最適です。

い出の里づくりにい出の里づくりにい出の里づくりにいった。田舎の豊かな自いを受し、守りながら子供達の思然を愛し、守りながら子供達の思い。

今年も又燃えています。



自然観察の森として、健康づくり

お大師さま有り、ロマン有り、



VA大久の 目指すもの

瀬戸町 濱 松 為 俊

今、地域が求めなければならないものは、人口が多いとか少ないいものは、人口が多いとか少ないは何か、それは集落内の活動としは何か、それは集落内の活動としながだと思います。活気ある地域形でがと思います。



〇VA大久の理念

れ四年が経過しました。 な集落「大久」の六○○人の人間 な集落「大久」の六○○人の人間 が、楽しく活気あるムードづくり が、楽しく活気あるムードづくり が、楽しく活気あるムードづくり

任を押し付けないようにし、委員 結構真じめに協力する姿を見てい そのためか活動には苦情も言わず とで全員の合意を取り付けました。 会の決議には積極的に協力するこ 会設立時の条件として、委員に青 を嫌がる傾向があるので実行委員 れています。この地域では、役職 会は誰でも出席できるよう開放さ す。これは運営意識にあるのでは はあまりいません。しかし色々な については、積極的に発言する者 実行委員には誰でもなれるし委員 ないかと思われます。運営は、全 活動が実行されているのも事実で て実行委員会に一任されており、 このグループの「目指すもの」

きもし、感激しています。書いた私としても以外なことに驚

〇イベントの活用

であると思います。田舎においてて、地域住民一体となったイベントによる地域ピーアールをやろうトによる地域ピーアールをやろうという意見が出、検討の結果昔のという意見が出、検討の結果昔の上ました。早速地曳網を購入し定期的に年二回「海の集い」として期的に年二回「海の集い」として期的に年二回「海の集い」として期的に年二回「海の集い」として地域に生まれつつあり大きな成果であると思います。田舎においてであると思います。田舎においてであると思います。田舎においてであると思います。田舎においてであると思います。田舎においてであると思います。田舎においてであると思います。田舎においてであると思います。田舎においてであると思います。田舎において

g。 え方について、とかく世知がらいなことに驚 も活動費の負担や労働に対する考

時代と言われるなかで、人情味あ

る昔の良さが生まれてきたと一安

心といったところです。

今年の五月の「海の集い」は、 学校教育の自然学習活動も含めて 実施したところ、外国からのお客 に対する興味からか反響も大きく、 に対する興味からか反響も大きく、 に対する興味からか反響も大きく、 は、 が域に与えた衝撃は大変意義ある ものであったと思います。

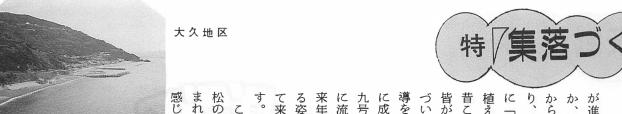
私達のイベントに対する考え方は、地域で一日いかに楽しく過ごせるか「ムードづくり」をどうするかを視点においています。スタッるかを視点においています。スタッは、地域への効果」をいかに考えるかは、地域で一日いかに楽しく過ごによって長続きし、定着することによって大化として認められることだと考えています。



○若者の活動

イベントによる住民の意識改革

ると、最初不安の中でシナリオを



来年再度挑戦すると意気でんでい 導を受け、五月の上旬実行し順調 る姿を見て、やっと本物の芽が出 に流されてしまいました。しかし 九号の高波(頂上部の高さ二十m) 昔この岩礁には松の古木があり、 り、手始めとして地区の東の沖合 が進むなかで次に何を求めていく て来たと来年を楽しみにしていま に成長していたのですが、台風十 づいたのです。学識者に植栽の指 皆が懐かしく思っていることに気 植えようと言うことになりました。 から景観づくりについて意見があ か、グループの中の十名程の若者 「雀碆」という岩礁の上に松を

感じられます。この機会を活かしまれて来ていることが秘し秘しと松のイメージを求めて、何かが生公のことを契機に、砂浜と緑の

地域の美感について、地域の美感について、

掛けていきたいと考えています。浜ゾーンの整備を地域全体に呼び用されており、皆に親しまれる海用されており、皆に親して広く活うコミュニティ広場として広く活に、昔から農作物の加工場

○集落づくりの課題

ます。 ます。 が地域経済と連係すれば、 した経済構造の確立が急務と思い すべきであり、 おこしの考え方を取り入れ活性化 は不安定になっており、今、 る柑橘は、価格の低迷で農家経済 動がなお一層飛躍するものと考え 活動との整合性であり活動の効果 直面すると思われることは、経済 くりが進むなかで今後どうしても このように地域意識、 現在この地域の主産物であ 地域の特性を活か ムードづ 一今の活 地域

性化するには行政だけに任すので

自意識の無いところに危機感もないし、さりとて強制できるものでもありません。最初は小さな力でも成功すれば注目されるし人が付いて来るのは世の常であり、時節いて来るのは世の常であり、時節の状況を見ながら急ぐことなく粘り強く声をかけあい、地域の自立を図っていきたいと思います。 を図っていきたいと思います。 かばおこしにはこのような地域のうごきとそれをささえる行政ののうごきとそれをささえる行政ののうごきとそれをささえる行政ののうごきとそれをささえる行政ののうごきとそれをささえる行政ののうごきとそれをささえる行政のの方できとそれをささえる行政のの方できとそれをさされている場所である。

最近、若者の一部から行政から力が重要であります。

いますが、地域を良くし集落を活いますが、地域を良くし集落を活れますが、地域を良くし集落を活れてしまう結果となっています。 を聞きました。理由を確認する 見を聞きました。理由を確認する と、役場から○○事業という補助 と、役場から○○事業という補助 と、役場から○○事業という補助 どうなるのかと、住民不在の補助 どうなるのかと、住民不在の補助 どうなるのかと、住民不在の補助 と、できであり、返って行政不信を招 できであり、返って行政不信を招 できであり、返って行政不信を招

相当向上してきています。しあうことにより会員の気構えもクが必要であり、会合の都度議論は無く、一体となったチームワー

○明日に向かって

ⅤA大久が誕生して四年が経過



張っていきたいと思っています。と思い、今後も手を変え楽しく頑と思い、今後も手を変え楽しく頑と思い、今後も手を変え楽しくではない。

来戦 略



切山雑感

伊予三島農業改良普及所の福本所 どの地域も同様であるが、今回、 域では父祖伝来の山地田畑を営々 として守り続けて今日があるのは んになって久しい。特に、山村地 地域づくり活動が全国各地で盛

> 子さんに、いろいろお話をお伺い だに、人家がへばりつくように点 することとした。 地区の未来戦略について、お聞き これらコミュニティ組織の状況と め役としてがんばっている真鍋富 ち十三もの組織に入り、とりまと 地域の情報通であり、それらのう 活発に活動しているということで 在している。コミュニティ組織が 参鍋姓が多いそうだ。急峻な山は 等で生活する静かな集落であった。 で、三十戸たらずの農林業、 んと参鍋美子さんも同席いただき、 した。当日は、近所の真鍋麻子さ 聞けば平家落人の里で、真鍋・

◎ 集落づくりと組織

ど、好きなものに気軽に参加し、 地区の自治会を始め全部で十五あ 続に関する組織等に分けられる。 るそうだ。これらの組織はほとん り、どれも活発な活動を続けてい 織・趣味の組織・農林業の維持存 地域の組織は、基本的に自治組

ルナシのエキス」を販売するなど

おり、それぞ ようになって メーバ組織の いい意味でア れの組織組織

切山地区も、香川県境に近い山村 長さんのご案内で訪れた川之江市

ができ、歴史的要因と相まって集 ふれあい交流 で情報交換や

落の強いつながりを保持する働き

域の活性化を目的に組識したと聞 域の歴史の継承に努めている。三 史跡の保存管理を行っており、地 き、最も注目した組織である。 つめの「ふるさと振興会」は、 の「真鍋家」を始め、平家関連の ようだ。又、遺跡保存会は、重文 の中でも重要な部分を占めている や森林資源の育成及び委託金によ 管理する組織で、自然景観の保持 保護組合は、地区の市有林を委託 引いたのは、保護組合と遺跡保存 をしているように感じた。 る集落の現金収入の確保等、組織 会及びふるさと振興会であった。 それらの中で、特に私の興味を 地

ふるさと振興会

たのである。 らなるコミュニティの醸成をねらっ きによる地域の活性化を進め、さ あった「炭焼き」を復興して炭焼 この会は、一昔前の主要産業で

又、会では、滋養強壮にいい「サ になる道もありそうな感はある。 りのための肥料として、又防虫の 切り出し、炭の販売などを進めた。 エコロジーがいわれる昨今、商売 効果があるとのこと、このことは、 に出来る「木酢酸」は、野菜づく る。しかも、炭を焼く時にいっしょ 豚の健康にもいい、又、糞もくさ に混ぜると、肉質はよくなるし、 炭は細かく砕き豚の飼料といっしょ 通は、燃料としか考えられないが、 では、炭の効能ということで、普 り、現在は、自家消費分程度との 炭焼き窯の設置、原材料の雑木の くなくよいことばかりだそうであ ことである。ただ、お聞きした中 かも年配者が中心ということもあ しかし、仲々売れないようで、し 地区民の有志十四人が集まり、

集落 特

ある。 の地道な産品づくりも手がけつつ

重要文化財「真鍋家住宅

の住宅は現存する県内の民家の中 指定の重文「真鍋家」がある。 この地区を象徴するものに、 ح 玉

で一番古いということ

とすと、その借りたお金

がいろりを囲んで楽し 家の中からは、大家族 煙の臭いがしみついた 私には、この住宅の価 この住宅が地区民の心 ぶりが脳裏をかすめ、 く歓談した昔の暮らし 値は分からなかったが、 であった (写真参照)。 時、住時をしのんだ。

た地域の人の気持ちが察せられた。 のような建物を現在まで守って来 の支えとして存在して た真鍋家の人と、それを支えて来 いることは間違いないし、又、こ

頼母子講の集い

形として、奥様方のコミュニティ 地区には、昔からの助け合いの

> 円くらいで落ちるそうだ。一回落 で決まる。概ね、月三百円~五百 月払う利息の額をいくらにするか 札で落とす。落とし方は、以後毎 寄り、その月にお金がいる人が入 有志十三人が毎月一万円づつ持ち 「頼母子講」が今も残っている。

を毎月返していくので 次に借りれるのは、 のコミュニティ 十三月後以降とな りとして、地域 端会議的な集ま 扶助の形で井戸 昔からの相互

役立っている。

0 将来に向かって

くり、地域の将来について、話し の十二人が地区の青壮年組織をつ 通勤者であるが、最近、そのうち いるそうだ。ほとんどは市内への ものの約半数の十四軒に後継者は お伺いしてみた。自営業は少ない 最後に、後継者の状況について

> 団結を生んでいると感じた。 風土は、集落を維持存続する強 釜などを守りながら暮らして来た 家ゆかりの安徳の窪、院の墓、十 いように感じるが、そこに残る亚 合っているということであった。 落人の里という意識は、余りな

たくさんあった。 接し、たいへん教えられることが 言葉の中に、キラッと光る言葉に を聞いていると、突々とでてくる はって暮らしている人たちのお話 この取材を通して、地域に根を

接する仕事をして来ました。まあ 長さんの言葉が鮮烈に残っている。 特に、で同行いただいた福本所 私は、県内各地で地域の人と



右から

参鍋 美 真鍋 富 真鍋 麻 福本所長 美子さん 富子さん 麻子さん



の繁栄をめざす営みである。 みとして意識し、生活していく人 盤として、その営みを自律的な営 とが大事ですね。」と。 事を自分が好きと思ってするのと は、そこに住む人々の暮らしを基 になるよう努力して、がんばるて 出て来ます。どの仕事でも、好き 自分の意識の中で、与えられた仕 ますが、私はこの仕事が好きです。 いやいやするのでは、大きな差が 人によって好き嫌いはあると思い 集落づくり活動は、当然、 それ

行きたいと思う。 切山地区の活動を今後、 して自律的な集落づくりを進める る様々なコミュニティ組織を動員 みない活動だろう。活発に活動す たちが、自分たちのできる範囲の ことから周囲へ広げていく、たゆ 注目して

(取材/山本)

研修」に参加して、栃木県茂木町 月三日の四日間 者…ン?が、 ら集まった十九名の将来有望な若 十一月三十日~十一 「地域づくり交流

まちづくり。

一まちづくりってど

ショックを受けて帰ってきました

東京都墨田区においてカルチャー

日本全国津々浦々で試行錯誤の

すればいいの?」という県内か

0

MERM

研修」回顧靈

て終り 窓い旅へ



「地域づくり交流研修」参加者と茂木町「ゆずの里」生産組合長・石河智舒 さん (前列中央)

いと思います。 で、その様子を早足に紹介した

は夢であったと信じたい。

重い事。深夜聞こえたあの雄叫び お開き後の愛媛の強者どもの腰の て宴もたけなわに。それにしても、 有識活動者七名もすぐに打ち解け



カンパイはまだかナ?

行二十一名と地元から参加

降りしきる雨は茂木町までまとわ との思いで羽田に着陸。 席S氏の悲痛な声が今も耳に残る。 やはり出ました台風の影響が…。 により欠航が懸念されたANA五 りついた。誰だ誰だ雨男(女)は! 上下左右に揺れる機内は騒然。 て順調なフライト…かと思いきや 八八便。それでもなんとか離陸し (本当に死ぬかと思った!)やっ 因みにセンターでは私が雨男で 季節外れの台風二十八号の接近 ▼出発。しかし: しかし、

拶の後カンパイへ。 づくりは人、お金は二の次。」と挨 更に追い打ちをかけるかの様に との交流会。阿部町長から「まち てないといいナ。」一行は絶句。 んでたな。明日の朝、 の雨だった。」といきなりボソリ。 さった茂木町の田村幸夫さんが センター」に到着。出迎えてくだ た午後六時に宿泊先の「ふるさと そういやーあの時もここで酒飲 四年前の水害の時もこんな状態 そして休む間もなく地元の方々 **豪風雨の中、日もドップリ暮れ** ◆茂木町に到着、 そして交流会 水に浸かっ



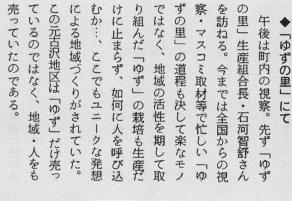
一月三十日(金

茂木町長、阿部武史さ ん、ハッキリ言って若 いデス

真面目に研修中?

十二月一日(土)

民の は地域の元気、 やはり 元気』を実感し さん、涌井明美さんによるレクチャ サイ。)の田村幸夫さん、服部公 天。午前中の研修は茂木町役場 れている茂木町における行政と住 まちづくり事業」と掲げて展開さ (通称ハミ出しトリオ?ゴメンナ 昨日の風雨がまるで嘘の様な晴 ▼茂木町の「まちづくり」とは… "協働のまちづくり"とは、 元気アップ茂木」 だった。 地域の元気は町の "人の元気 一誇れる



先、 なんて思わないことですネ。 きに挑戦。 間違っても陶芸家を目指そう 行は逆川等を視察後、 まあー皆さんこれから 茂木焼



この真剣な?眼差しを (農村出会い塾にて)

が集まっているのでしょうか?凄 さん宅へ集まってきます。それが 町内外の老若男女たちが小西孝蔵 事の講演の後、交流会となりま 葉町)。 仕掛人の管野良平さん(福島県常 インゲストは「全国仕掛人会議 でも温かい情報を仕入れようと、 農村出会い塾」です。 パワーを感じます。きっとこの 人』ですネッ、と自分で納得。 ようネ。 茂木の夜は冷え込みます。 「農村出会い塾」 が茂木町を支えているんで 体今晩はどれくらいの人 御自身のやってこられた まちづくりはやっぱり 今夜のメ

•



活躍中。 全国仕掛人会議にて この日のメイン講師 管野良平さん (福島県常葉町)

以上、山ちゃん



石河智舒さん

ト等で大活躍。 心としたイベン

小西孝蔵さん ゴイノ とにかく、この 人のパワーはス (農林水産省 (ゆずの里)



むらづくりを中 涌井明美さん (茂木町



く悩んでいる。しかし、成功率が低 服部公一さん (一ド大好き人間。) (茂木町)



ちづくり中心人物。 茂木町における、 酒はケッコウいけま 田村幸夫さん

墨田区・川の流れに見たものは

十二月三日(日 ▼東京は夜が見ごろ

暗い水面に映る月と提灯の明か

綺麗所を入れての大宴会模様。 が行き交う。時折見える船内では が見えない。暖冬のせいか、師走 ビル群も闇に閉ざされてその実体 隅田川か。もう歌えないな。」と思っ に入っても、 のせいもあってか、かなり濁って ていたけれど、夜になれば風情は 昼間に見た隅田川は、雨降りの後 りが、波にゆらゆらと揺れている 変していた。川の汚れも周囲の 「これがあの歌に歌われた 提灯を下げた屋形船

隅 B]]]

~ンッ、

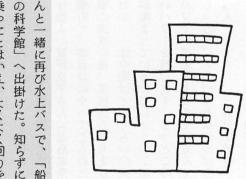
スゴイノ (墨田区・本所保健所にて)

すのみとなった。午前中、 思った。 かられ、江戸時代の人々もこうい う風景を見ていたのではないかと 我が「交流研修」も、明日を残 お世話

になった栃木県茂木町をあとにし

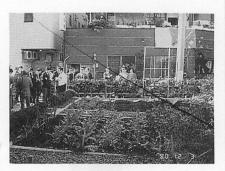
であった。 川下りは、ひとときの安らぎの時 草界隈を散策して、水上バスでの て、午後、東京都内へ入った。浅

出桟橋」に着いてからは、 れの行動に。私は、Sさん・Nさ 水上バスの終着である、 それぞ 一日の



どうしようもなかったなぁ。 デートコースの一つなんだ。男三 見るとアベックばかり。ここは、 乗ったとはいえ、よくよく回りを の科学館」へ出掛けた。知らずに 人で良かった。これが男二人なら

あるじゃないか」と風流な想いに 東京にもまだまだ良いところが



東京にもこんな場所が… (墨田区・防災小緑地向島有季園にて)

◆雨水利用と路地剪

を受ける。

フィードバックし、国技館や墨田 得た雨水利用の研究成果を地元に の代表であるが、自主研究活動で ソラーシステム研究グループ」 村瀬さんは、自主研究グループ

十二月四日 月 月

▼いざ、墨田区へ

発。迎えのバスにそそくさと乗り 昨夜の疲れも見せずに、元気に出 所である墨田区の本所・向島地区 こみ、今回の研修のしめくくり場 研修日和りとなること受け合い。 夜明ければ日本晴れ。最良の

は何とも形容しがたい。 ルのビルが迎えてくれる。この形 前には、独特の形をしたアサヒビー た水上バスの乗り場があり、目の もう墨田区。左手には、昨日乗っ ホテルを出て吾妻橋を渡ると、

利用システム」についてのお話し さっそく村瀬誠さんより、 本所保健所に到着するやいなや 「雨水

いる。 いる。 難さに注意をしている人はそうい 用システム」の実現にも尽力して 災の水源とする、 区の公共施設での雨水利用の導入 から雨水を集め、 に道を開いたことなどで知られて 水について普段から、 また、その成果を路地裏の屋根 それを地域の防 「路地尊天水利 その有り





これが、あの *路地尊(3号)"デス

50

することができた。

この「

尊二号」と「路地尊三号」を見学

は蛇口をひねれば出てくるのだか

た時に気付くのが普通である。

水

する。 まう。これほど、もったいない話 道・川・海などに流れていってし 難さに気が付くべきだろうと思う。 しはない。当たり前になることほ 雨が降ってもそのほとんどが下水 でも、 恐しいものはないような気が 私達は今一度、 水の有り

造られている。その路地尊研究会 を集めて、防災用の水源とする雨 の徳永暢男さんの案内で、 水利用システム「路地尊」 向島地区では、屋根からの雨水 が三つ 「路地

> 聞いた。渇水時でも消毒すれば、 加えてくれた。 化に威力を発揮したということを 十分に飲料水として使えると付け 一号」の近くで小火があり初期消 一路地尊



ないであろう。水が足りなくなっ

国技館の雨水利用システムの研修

◆のどかな川辺り

じめたという。 きて、人々が再び川に目を向けは をとった。この、人専用の橋がで る人道橋「桜橋」のたもとで昼食 こののち我々は、隅田川に架か

風景だった。 鳥たちの姿は、どこでも見かける そうだ」と思わずにはいられなかっ 遠くに見るビル群は、「やっぱり 見ま違う雰囲気を感じた。だが からは、 まるで春の陽気のような川辺り ただ、風に乗って飛んでいる 「ここは本当に東京!」と やさしい風が吹いてくる。

以上、ルパン



ちづくりで活躍 住民サイドのま とは思えない! 本当に民間の人 徳永暢男さん 一路地尊研究会



村瀬 で活躍中。 ム研究グループ ソーラーシステ シーが必要だ!」 「行政にはポリ (本所保健所 誠さん



本所保健所・村瀬誠さん(後列右から6番目)を 囲んで (桜橋にて)

ノレーでちょつトーク

きなのだろう。

に行くのが好きです。」と答えるべ

「山の中を流れる渓流に魚を釣りをです。」と答えると「?」というきです。」と答えると「?」というきです。」と答えると「?」というが好れれて、「山へ釣りに行くのが好れれて、「山へ釣りに行くのが好れれて、「山へ釣りに行くのが好れれて、「山へ釣りに行くの川」

好きな川に「おっちゃんの川」をいう渓がある。これは渓の案内をしていただいた老人のインパクをして、こちらで勝手に渓の名前を変更してしまったのだが…。そのおっちゃん、若いころ半農半漁で釣った魚を売って生活していたらしい。が、寄る年波には勝てずらしい。が、寄る年波には勝てずらしい。が、寄る年波には勝てずらしい。が、寄る年波には勝てずらしい。が、寄る年波には勝てずらしい。が、寄る年波には勝でずる。

後をついて歩くのも大変な感じになってしまう。「おっちゃんの川は、その部落の人の蛋白源を供給してもらう川(もちろん飲み水も)らしく実に上手に川を歩いていく。らしく実に上手に川を歩いていく。たいうのも、おっちゃん田く「乱というのも、おっちゃん田く「乱というのも、おっちゃん田く「乱というのも、だけしか思っているのだった。なんだかそれまでの「釣れれっ。なんだかそれまでの「釣れれっ。なんだかそれまでの「釣れれっ。なんだかそれまでの「釣れれっち。なんだかそれまでの「釣れれっち。

二月の河川の釣りの解禁の声を聞くと、そわそわと居ても立って東京とポーランドで開催される版画展への出品作づくりの為、そう画展への出品作づくりの為、そうのではおそらく(水道の蛇口ののこう側に思いを馳せながら)必の形相で銅版とにらめっこをしていることだろう。

石垣ウォッチャー参上

城のあの石垣でアリマス。 人間の好奇心とは、実際困ったもので、目下『イシガキ』に興味を持ち始めている。もし石頭のがきんちょがいたら、アナタの事ではありません。そう、段々畑やおはありません。そう、段々畑や

何が困るかってゆうと、その関心の度合いに比例して、本を漁ったり、実物を拝見しにアチコチ走たり、実物を拝見しにアチコチ走たり、実物を拝見しにアチコチ走たり、実物を拝見しにアチコチ走たり、生きんが為の職を投げ打元より、生きんが為の職を投げ打元より、生きんが為の職を投げ打たよっとオモシロソーだという程度のきっとオモシロソーだという程度のきっとオモシロソーだという時間をどうにかりであるにも拘らず、ダ。しかけであるにも拘らず、ダ。しかけであるにも拘らず、ダ。したりに、本を漁りしているから出来がある。

て寝かせとる」と言われる岬十三町は、丁度「山があまりに高過ぎ代わって答えたい。私の住む保内なんで石垣でときに、と思われ

身体もピンシャンとして

さんです。

次号は、伊予三島の金崎治信

いると手の震えも止まり

いうのだろうか、渓には

が、昔とった杵柄とでもいな。」と思っていたのだ

会にに かけば

里(佐田岬半島)の地の少なかったこの 半島部では古来、石 くれの一つ一つを丹 念に積み上げて、何

してきた。芋からミカンに作物はしてきた。芋からミカンに作物はたい。両面を海に囲まれた地勢上、ない。両面を海に囲まれた地勢上、ない。両面を海に囲まれた地勢上、ない。両面を海に囲まれた地勢上、強風から家を守る為の高石垣や、大きな青石を使った津々浦々の護岸壁や防波堤。中央構造線沿いのこの辺りは、ズバリ石垣の宝庫だったのだ。しかるに、イマイチそうした存在に対して、景観資源や文化遺産としての視点が垣間見られない。こりゃあカワイソーだ。

たら教えて下さい。

でいて、人があまり見向きも
にいる、ないで、人があまり見向きも
にがる、困りモンの僕としては、
たがる、困りモンの僕としては、

インフォメーション その1

湯布院の「里」を作った旗手たちと「砥部」を語ろう会ーアートの里フォーラムPart 2 ー

日 時 平成3年3月17日(日)9時30分

場 所 砥部町中央公民館

主 催 アートの里づくり会議 砥部町

後 援 砥部町議会・砥部町文化協会・砥部町観光協会・砥部町商工会・城南農業協同組合・伊 予陶磁器組合・愛媛県文化振興財団・砥部焼販売協同組合・(財)愛媛県まちづくり総

合センター・砥部町郷土料理研究会・NHK松山放送局・南海放送・愛媛放送・愛媛新

聞社

日 程 ☆9:00<受け付け>

☆ 9 : 30<全体集会> 開会行事

問題提起
・アートの里の可能性 矢野徹志(アートの里づくり会議代表)

・私の地域観 中谷健太郎(由布院温泉・亀の井別荘総支配人)

☆10:50<車座談議>

意見発表 —— 住民

☆12:30<昼食 バザーイベント 砥部料理>

☆13:30<ディスカッション>

オブザーバー 中 谷 健太郎 (亀の井別荘総支配人)

〃 髙 見 乾 司 (湯布院空想の森美術館主)

〃 木原勝彬(奈良まちづくりセンター理事長)

小 西 定 則 (川之江市福祉事務所長)

亀 岡 徹(五十崎町町づくりシンポの会世話人)

☆15:20<閉会行事>

司会進行・八 木 健(NHKチーフアナウンサー)

参加人員 先着200名で締め切ります。

参加費用 500円(昼食費含む)

参加申し込み 砥部町役場・企画課 ☎0899-62-2323

アートの里づくり会議事務局 伊予郡砥部町宮内261 矢野 徹志 ☎0899-62-3208

インフォメーション その2

あの、集会の感動を、今再びあなたに!!

『'90えひめ地域づくり活動者集会』の記録集、刊行間近!!

当まちづくり総合センターでは、昨年の2月27日、28日の両日、愛媛文教会館等を会場に、えひめ地域づくり研究会議及び(財)愛媛県市町村振興協会と共催「'90えひめ地域づくり活動者集会」について、現在、その感動を集約した記録集の編集に努めており、来る2月末日を目途に発刊を目指しています。

県外講師の諸先生方を始め、県内パネリストのご示唆に富んだ「地域経営・産業・景観・女性の世界」からのご意見、ご提言を、ここぞとばかりに紙面にぶつけ、皆様のご批評に供しますと共に、今後の活動等の参考になればと思っております。

お楽しみに!!

楽しかったBONEN ・ティ オフラインレポート

のです。 呼出す事で活動が展開されている 所にあるホストコンピューターを うというスタイルではなく、一ケ 私たちの場合は人が一ケ所に集

すっかり前置

祝4周年記念BONENパーティ

の楽しみの一つは

の場所に集うイベントを持ってま 寄せられるメッセージから人柄や た事がないというちょっと変った ので、実はまだ一度もお目にかかっ 係だったりするのです。 一味に共感を感じて結ばれてます でも私たちにも年に何度か 会員同士は、コンピューターに (笑)

BONEN

展開されて行きますが、パソコン 通信の場合はちょっと違って来ま 合し、行動を共にする事で活動が 味を同じくする人達が同じ所に集 通サークル活動と言えば 趣 ラインと

集会がこ れにあたり 言われる

ます。

日(土)に 月二十二 年の十二 が長くなりま したが、昨

祉会館で行われました。 パーティーと銘打ってそのオフラ インイベントが松山市の伊予鉄福

今回は気軽に参加して貰うため

そして当日会場でご対面となっ

して、 ン)で会う場合との区別で、 通常電話回線上(オンライ オフ

の店」等が出来上がりました。

それに遊びの要素も取入れ ジャンケン・ゲームやビン ゴ・ゲーム等も企画し、 新しい会員さん達にも 大勢参加して貰えま した。 このオフライン

る事が楽しいのです。 分の中でイメージを広げて想像す 人なのか判りません。それぞれ自 はないのですから外見がどんな ていても、お目にかかった事 える事なんです。人柄は判っ じているその本人と出会 何と言っても共感を感

> とユーモラスだったりと、この瞬 た時、 ないとちょっと理解していただけ 間の醍醐味は通信をしている方で 想像以上にお若い方だったり、老 分のイメージとピッタリの方だっ ないかも知れません。(笑) けてたり、感激があったり、ちょっ たり、あるいは全然違ってたり、 して……さん?」という風に、自 んですか!」「えっ!、ひょっと 「あぁ!貴方があの・・・・さ

更に打解けた雰囲気を出し、書込 山本さん、 みへのバネになって行く訳です。 でしたか・・・。 ていただきましたが、感想は如何 たオフラインが次回の書き込みに ぎ去ってしまいましたが、こうし 盛況のうちに、あっという間に過 今回は、 会場の二時間という持ち時間は、 宇都宮さんにも参加 まちづくりセンターの

2 43



タウン

コーナー、 める店」、「占いの店」、カラオケ トの店」、「ゲームやPDSが楽し カチやTシャツに出来る「プリン で不用品を持寄っていただいた みようという事になり、会員仲間 会場の中に出店をいくつか作って にちょっと工夫をしてみまして、 ノミの市」や、「本の店」、ハン 「喫茶店」や「お菓子

ら、文・物が移出入し、ムラが世界につなが る。それがムラの消費文化を豊かにし、 示すように…、『バザール(市場)があるか ル』です。その原理はビジョン・イメージが 湯布院戦略/第二のキーワードは、 『バザー **[だから自由を取り戻す…バザール]**

が思う「バザール」とは違い、その と言われていまして、どうも私たち のだ…。ゆき先は「バザール」。港の市場。』 ら自由を取り戻す。鎖を切って大航海に出る と呼びます)を説かれる中谷さんは、『だか しかし、このキーワード(原文では「旗」

意味は深く広いようです。

思うからです。 代を乗り切ろう。そのゆき先が『バザール』 阻むマチガイの鎖を断ち、今迎える大航海時 だ…』と捉えられたと視るべきあり、 化を創造した豊後の人たちの活力を、 あの大航海時代に対応し、新しい文 との提唱だ…と考え、「自由=バザール」と つまり、この「…だから」には、 、これを 『自由

らないものではない。食べものと一緒に活々 を闊歩し、海を走り、砂漠を越える自由を失っ と変ってゆくものなのだ。農業が地球の大地 らんでいる。決して土壌にへばりついて変わ またそれは、「農業は本質に夢と変化をは

> に…、文・物交流の『バザール』を視られた べもの(料理)と農業の変身・発展のセオリー もたらしたもの…』から学んだとされる、食 前文が…、例の『食文化フェア/ザビエルが からだ…と、読めるからなんです。 た時から、マチガイが始まった…」とされる

[これでよいのか…町の地域市場]

文化を活性する…』ことだと思います。

で、この稿は極力、中谷さんの原文を追う管 するのは、とても難しくて怖いんです。そこ こうなると、湯布院戦略/バザールを紹介

国からのオメグミ金だ…」と、湯布院バザー の財政も自前はやっと三分の一。三分の二は されて、「つまりは星の数ほどのモノを移入 ルの現状から問題提起をされます。 生活は成立っている。生活はそうだし、役場 し、指で数えるほどのモノを移出してムラの を廻りムラに戻ってくる」と、その実態を示 「…そのうちかなりのものは、よその卸市場 だ?大根・卵・饅頭・鯉…」等々と数えられ、 の内、ムラの中で作られたものはどれとどれ そして、この物差しを尺度に、「…その星

地域づくりゅんで言句ともやま話ノート

第七話/『何かが道をやってくる…』話 えひめ地域づくり研究会議 宮 本 **(2** 俊

存在の意義と、金とは何かを解かれます。 と、町とその経済における基本的なバザー 場がある。市場には肉がある。酒落たブラウ 見として、読書のご判読を期待します。 れば何でも買える。だから金が必要なのだ… て、それらは「…星の数ほどある。金さえあ スがある…」等々と、各種の商品を列挙され の現状と問題提起です。まず「町の中には市 ザールの思想」だ…』とされる言葉です。 その鍵は、『引力の関係で町をみるのが「バ ともあれ、その第一章は、湯布院バザール なお

> バザール効果をリードに、子供たちというピュ テーブルまで出前してくれる…」と、象徴的 もある。世界中のユメをテレビが運ぶ。家の レーショナルな引力の世界と、その多元性を ァーな未来鏡で、バザールを必然させる…リ には星がある。ユメがある。なんで 本質の絵解きですが…、まず「市場 [二つの本性を活かすバザール戦略] 第二章は、地域市場/バザールの

風景がくっきりと映っている。異国の船が出 はハイヴィジョン並に精確だ。そこは市場の とも、家のことも、移出移入の風景も。人び との働きも、暮らしも…。子供たちの原風景 「子供たちは何でも知っている。市場のこ

映し出されています。

そして、「ムラの人もマチで買い、マチの人もムラで買う…」と、バザール契機のリンク的な流動性を挙げられて、多元・多様・動りのな流動性を挙げられて、多元・多様・動態が生み出す変化や混沌をチャンスに変え、に市場には星がある。ユメがある。なんでもある…」を創造する柔軟性を暗示され、それを『アメーバーのように伸縮自在で、C・Gを『アメーバーのように伸縮自在で、C・Gにコンピューター・グラフィック)のように変幻自在なもの…それが地域市場/バザール変幻自在なもの…それが地域市場/バザールで』と、その本質は、『自由』と喝破されているようです。

化創造に変換した「文・物交流」と、それをれない異文化との厳しい遭遇を…、新しい文ととに、あの大航海時代の教訓。得体の知

略』が選択されたように思うんです。 代的課題/「何かが道をやってくる…」を克 の計せもつ『バザールの本質』とそ、この時 の方策だと、湯布院『バザール戦

[引力関係で視る/バザールの思想]

ら町は自由で複雑なのだ…」と、町の本性を 過去につながり、地球に広がっている。だか 貫かれている(難しいが判るような感じ…)。 るのだ…」と、時間と空間を超えてつながる た方々が、シッカリとわが町を構成してくれ くれる人。それにご先祖たちや、世話になっ こなくても、マチの市場で町の産物を買って 員です。この町に拘わる全部の人。この町に …」等々と挙げながら、「…モチロンその全 勤している人?お金を落としてくれる観光客? の人?町の人とは誰だ?住民票のある人?通 説くものですが、まず述べられるのは、バザー り…、そのまま「町づくりの思想と視点」を ようです。 人をもって、『人が町だ…』とされます。 ルがよって立つベース。町の捉え方です。 "生きもの" と捉える視点を、 第三章は、バザール戦略のコンセプトであ 「一体この町を構成しているのは誰だ?町 「総ての町は歴史とバザールとに 説かれている

そして、こうした町の本性を捉えた町づく

「バザール」への積み上げのようですネ。

ら港へ、或いは駅から駅へ、過去の歴史の 農業かといった平地の戦術的発想から導き出 引力で結ばれている。その関係が壊れると、 の星だ。地球の上にバラ撤かれ…、お互いの 点は、バザールを見据えているはずだ。港 あの温泉館、あのJR駅舎等々。みんなこの さな星空のコンサート、あの湯布院映画祭 町づくり活動は…、あの牛一頭牧場、あの小 厳しく警告されて…、結ばれているんです。 いると、マタヒトツ星ガ消エテユク…」と、 とが多いからではないか?そんなことをして されるのは利害が町づくり計画を左右するこ る…。このようなあたり前のことが、等閑視 計算されていないから、たちまち流星消滅す された地域計画は、ヨソとの引力バランスが で、だから…「よそ者か、地元か、観光か、 づくりの計画であるはずだ…」と説かれた上 てそこから精密な計画をひきだす。それが町 からお互いの関係を精確にフカンし、計測し てよい…』が、判るはずだとされます。 係で町をみるのが「バザールの思想」だとい ムラは流星になって宇宙に消える。 かわりへ…」と見えるから…、『ムラは地球 町を捉え、設計し、創りあげてゆく。 りなら…、 こう見てきますと、ここ三○年の湯布院√ そこで、町づくりの視点を、「星の視点だ 「自由で、複雑で、変容し続ける 引力の関

動形成の主体。ムラに溢れる人びとの多様性

の中間の人、その他色々…」と、バザール活する人、市場の客も、地元の人、旅の人、そ

「…さらにムラの中に勤める人、マチに通勤

と動態的な可能性を示唆されます。

ネットワーキング集会の報告

財愛媛県まちづくり総合センター

石][[元 英

会」として行われた。 会議』年一回の「総会に代わる集 月一日に『えひめ地域づくり研究 ●はじめに この集会は、 去る平成二年十二

ということで、祭り囃子が鳴り郷 ティングが、「らしくない総会」 ような…、会員の交流の場のセッ れの地域の状況、悩みを語り合う でも多くの会員が集まり、それぞ とにかく会員の皆さんの "お祭り や収支予算などは文書評決に留め という声に後押しされ、収支決算 の総会行事なんかやめてしまえ! 通常よく見られがちな形式だけ 的な感覚でもって、ひとり

にぴったり。

た議論がなされた。

三人の切り口者たちの共通

シンポやフォーラムとも違う仕組 会の持ち方にしても昨今流行の

> しが本当に求めているものは何か. る方(土の匂いのする人)ばかり 愉しく、イキイキと生活されてい ごく普通の生活者、自らの地域で 願いをした登壇者の方々も至って みがとられ、とにかく小難しい話 仕組みづくりが取られたのである。 でおしゃべりをする。 い、みんなが主役で、本音の言葉 はやめ、聞くだけのシンポでもな みんながしゃべるぞ!といった 話の切り口役ということで、 テーマの『いま、地域の暮ら

ごく一部の価値観じゃない、都市・ の生活・暮らしというものをもう 度見つめ直し、大トウキョウの 要は一人一人が、自分の地域で

> について、より具体的な身近な話 いなか・自然・環境といったもの し合いができればとのねがいがあっ

さて本番は何如だったのでしょ

くるま座談義ーより

新しい暮らし…》

田舎の生活を見直し、 舎に自信を持ちませんか?とい ドの漂う現実のなかで、本当の んでいる人達自身にあきらめム れない田舎の生活、さらに、 しについて…、あまりよく言わ 加者約二十五名が、田舎の暮ら 家」の武田洋子さんを含めた参 の福岡忠史さん、中島町「陶芸 孝さん、内子町「かわせみの主人」 丹原町「ちろりん農園」西川則 自分の田

求めようとしている。大都会で しい暮らしを自分のこころから から見えてきたことは… 地域との関わりのなかで、

> 方法としてものをつくりだしてい というものを…、自分を表現する の生活を経験し、失いがちな自分

努力の大切さは、どこに住んでい を、自分の落ち着き場所を求める 殻を破り、本当の自分というもの が満たされるはずがない、自らの さしい生き方ではあるが、 おくことのほうが簡単で、 勿論、社会の流れのなかに身を こころ

ても同じなのである。



くるま座Ⅰの様子です。

●くるま座談義Ⅱより

る都市空間談義であった。 ピノさんらと約二十名の面々によ市の岡崎直司さん、松山市のジル・松山市のジル・

都市とは一体なんだろう!ただの月便性、合理性だけの空間に追の利便性、合理性だけの空間に追の利便性、合理性だけの空間に追の利便性、合理性だけの空間に追の利便性、合理性だけの空間に追のがった。 があっと、生活・暮らしの観点から、があっととで、マンホールから、ということで、マンホールから、ということで、マンホールから、ということで、マンホールから、ちの句いのプンプンする商店街づたの句いのプンプンする商店街づくりを中心とした愉しい仕掛け、くりを中心とした愉しいである。

くるま座談義Ⅲより

二十名が、自然との共生のなかで経営の三好道子さんを交えた、約修さん、松前町の喫茶「もにこど」外加町「四国肱川皆農塾」の坂根、大万町の主婦、甲斐芳子さん、久戸町の主婦、甲斐芳子さん、人の自然と環境と暮らし…》

三人に合見がこつつきらいつうか…?談義であった。いかに暮らしていけばよいのだろ

三人とも自然とのつきあいのこれなかから、ビジネスをもち、それなかから、ビジネスをもち、それがまた生活とも結びついている。即実行に移しながらも、ある部分の接点から地域社会にも働きかけをしている。

ではある。 というものをもっているからこそ とれらものをもっているからこそ

いよいよ本番!●お祭り広場から

ものは何か…?のフリートーキンの暮らしが本当に求められているにあがり、それぞれが考える地域にあがり、それぞれが考える地域がは、みんなの"お祭"がないが、かんなの"お祭"がないが、かんなの"お祭"がは

くはじまりましたが、んによる、漫才芸人の独演会の如存じ我らが、シンちゃんとコンちゃ存じ我らが、シンちゃんとコンちゃった。

さて、結果は…

看板の乱立や騒音問題談義へ

でいるのではないだろうか!どう も、高度経済成長のなかでトウキョ も、高度経済成長のなかでトウキョ も、高度経済成長のなかでトウキョ なり、以前にはあったはずの都会 の役割・いなかの役割がなくなっ でいる。良いものは良いといえる のではないだろうか!どう

教育談義へと走り、というこはで生きる!暮らす!』ということを、この場で考えてほしい。』とを、この場で考えてほしい。』とが、こがはは、社会づくりの一番小さな単位の家族談義から、こどものはめにも、いま、改めて『地

との意見から、都市のなかの問きれいすぎるんじゃないか?確かとは思うが、現実的な話にはなっていない。この場は、もっと現実の中から、疑問に感じることや、の中から、疑問に感じることや、『すでく、模範的な話ばかりで、『すでく、模範的な話ばかりで、

さらに、本音の話がチラチラと さらに、本音の話がチラチラと でくり・むらづくり ** といわれる ずまち しいままで、行われている ずまち まれてきた第四コーナーでは、

地域の人たち、一人一人が、ピカッと光っていなくてはいけないカッと光っていなくてはいけないりだ!まちづくりだと!」と叫んでみても、どうにもならないんじゃないか?普通の生活者の人たちが、まつになるような…、そんな、まち・むらおこしを願いたい。』



思うことや、本当のことが自由に 存在しているからである。 議論できない、精緻なシステムが ちまける場所がなく、不思議だと もっと自由にものの言える社会 『現社会のなかには、怒りをぶ

めてから、いつも通り打ち止め。 なかなか、シビアな意見が出始



昔ばなし。まがりのはじまりはじ さんがおったんじゃ~』の"日本

というか、過疎と呼ばれ、人の住 を巡りながらの作家生活。 まなくなったようなところばかり がら、日本全国の「田舎めぐり」

図るのだから…、若い人に元気が その人たちの価値観でものごとを みても、上におっかない人がいて、 元気がない、元気がないと嘆いて て、若い人たちは住みにくい世界 生活しやすいように設定されてい とった人たち(中年)の人たちに である。村の中でいまの若い奴は いなかとは…どうしても、歳の

●思索の森から

夫さん(作家・体験エッセイスト) 婆ちゃんの話に耳を傾ける高橋義 半端住民になりすまし、爺ちゃん 山形県の片田舎で季節住民として ための元気の糧を…ということで、 精気に触れ、明日の現実に向かう 愉しかったお祭りから、思索の

『あるところにお爺さんとお婆

東京生まれの東京育ちでありな

がわかるのであろう! をあげたり、自分たちの表現方法 すことによって、自分たちの実力 たち(レベルの高い)と磨りあわ ルを知る作業が必要で、他のもの は、もっともっと自分たちのレベ 自分たちの力を表現するために

なことをやっている人たちの集ま は日本中の地方の人たちの集まり りが大東京である。」 いけないこと、やるとまずいよう であり、自分の故郷ではやっては 比するようなものではない、東京 といった仮定は非常に面白かっ 東京とは…、「地方と東京を対

らしい現実! として、恐れ多い山形県西川町で おこされ』と集落の人たちが呼ぶ も、現地の生の声としては、 私たちが、まちづくりの先進地

だ!』何が本当の暮らしなのだろ 店の人と話をしているようなもの ラリーが同じ)、東京の広告代理 こで話を聞いても同じ(ボキャブ 『行政主導の地域づくりは、ど

『そこに居ると気持ちがよくなる。 橋さんのお話は、まさに昔のお伽 話であるかのようであった。 ホットするような感覚』がある。 ふつうの人であれば感じるはずの そんな暮らしぶりを求める、高 田舎には、どこで住んでいても、

の元気のもとになりえたのでは…? 再確認!それぞれの地域に帰って 顔を会わすことの大切さを今一度 が、集う場の設定には成り得たし、 起こったこと遺憾であります…。 時間配分にて多くのブーイングが 打ち合せ不足にて、会場の設営、 事にどうにかこうにか、やり終え ちにご迷惑をお掛けしながらも無 余りの仕掛けにて、多方面の人た はしましたが、なにせ事務局側の この辺りでお許しを…。 企画から実施までほんの一カ月

--- 〜お・知・ら・せ〜 -----

例年、総会当日に「総会資料」として、当該年度の事業報告、収支決算報告などを紹介しておりましたが、今年度は「総会らしくない集会」ということで、通例の行事が省かれましたので関係資料がなく、現在、「'90年次活動の歩み」という形で冊子を取りまとめ中であります。後日、会員の皆様にお送りさせていただきます。お楽しみに…。

一足早く、舞たうん紙面をおかりして、「'90年次活動日誌」「収支決算報告など」「'91年次運 営委員名簿 | などを掲載いたします。

で意見、で質問などでざいましたら、事務局までで一報をお待ちしております。

えひめ地域づくり研究会議

活	動	日	誌
11	35/J	$\boldsymbol{\vdash}$	HIL.

 $(1989.11.1 \sim 1990.10.31)$

1989.11.11	
11.25	第一回運営委員会
12.15	舞たうん (VOL14) 共刊
1990. 1.13	第二回運営委員会 文教会館
2.15	舞たうん (VOL15) 共刊
2.27~28	「'90えひめ地域づくり活動者集会」 文教会館
	: : 道後保養所えひめ
3, 20	第三回運営委員会城川町「宝泉坊ロッジ」
4.15	舞たうん (VOL16) 共刊
4.26	宮本俊一さんを囲む会 文教会館
5.19	第四回運営委員会
6. 8	事務局打ち合せ会 まちづくり総合センター
6.15	舞たうん (VOL17) 共刊
7.14 ~ 15	第四回運営委員会及び玉川町「国民宿舎玉川荘」
	「地域づくり研究サロン」
8.15	舞たうん(VOL18)共刊
9. 1	第五回運営委員会
9.14	事務局会議
9.16	いわぎ村づくりシャベリング岩城村 開発総合センター
10. 9	運営委員推薦委員会 えひめ共済会館
10.12	「総会に代わる集会」検討会(中予) えひめ共済会館
10.15	舞たうん(VOL19)共刊
10.15	「総会に代わる集会」検討会(南予) 内 子 町
10.20	「総会に代わる集会」検討会(東予) 新居浜市
10.23	第六回運営委員会
10.23	運営委員推薦委員会
10.29	「総会に代わる集会」事務局打ち合せ会 まちづくり総合センター

1990年次 収支決算報告書 (1989.11.1~1990.10.31)

<収入の部>

料目	決算額(A)	予算額 (B)	A-B	内 訳
攝 越 金	906, 309	906,309	0	
会 費	885, 000	1,449,000	△ 564,000	'89年次- 84人 252,000 '90年次- 211人 633,000
参加费	0	300,000	Δ 300,000	
雑収入	180,706	4, 691	176, 015	預金利息 9,166 自治体学会援助 128,440 シンポ報告集売上 43,100
2†	1, 972, 015	2, 660, 000	△ 687,985	

(単位:円)

(収入決算額) 1.972,015円 -(総総金額) 1,239,547円 (支出決算額) 732,468円

<支出の部>

料目	決算額(A)	予算額 (B)	A-B	内 訳
総会費	205, 150	350, 000	Δ 144,850	受料代 147,400 弁当代 32,000 者板代など 25,750
情報誌 発行費	0	198, 600	△ 198,600	
事務局費	275, 103	200, 000	75, 103	運営委員会費 196,998 事務局費 78,105
研究会 事業費	95, 203	600,000	△ 504,797	研究サロン 95,203 (3/20 ,4/26 ,7/14)
全県交流 集会費	0	300, 000	Δ 300,000	
印刷费	157,012	800,000	△ 642,988	基本計画シンポ 157,012 報告書作成費
于确设	0	211,400	Δ 211,400	
31	732, 468	2, 660, 000	△1, 927, 532	

(単位:円)

1991年次 収支予算書 (1990.11.1~1991.10.31)

<収入の部>

	4 I	3	1991年次 予算額(A)			A-B	Þ	5 R
級	越	金	1,239,547	906, 309		333, 238		
숲		*	1, 458, 000	1,449,000		9, 000	'91年次分 328 (既年次末納分 158	
*	ħī	*	0	300,000	Δ	300,000		
Ħ	Q	J	2, 453	4,691	Δ	2, 238		
	211		2, 700, 000	2, 660, 000		40,000		

(単位:円)

<支出の部>

Ħ		B	1991年次 予算額(A)	1990年次 予算額(B)	A	-в	内	駅
18	슾	*	400,000	350, 000		50,000	受料印刷费 会 場 費 事 務 費 食 料 費 雜 费	200,000 50,000 50,000 80,000 20,000
情報	€誌 発行	ī ņ	196, 800	198, 600	Δ	1,800	100円× 328	人×6回
事務局費 683,200		200,000		483, 200	運営委員会 (年6回) 報告集の印刷費 搭銭費など			
स	化会	e r	1, 120, 000	600,000		520, 000	各種研究会 予備費など	
地址	(交)	_	300,000	300,000		0	東・中・南子	各地域 100,000
印	辟	黄	0	800,000	Δ	800,000		
7	魚	史	0	211,400	Δ	211, 400		
	Ħ		2,700,000	2, 860, 000		40,000		

(単位:円)

運営委員名簿

(1990.11.1~1991.10.31)

	氏	ŕ	3	職場	₩.	住 所	25
代表運営委員	岡田	文	淑	内子町役場	(勤)791-33	喜多郡内子町大字内子甲780	(勤)0893-44-2111
女 只	若松	進	_	双海町役場	(勤)799-32	伊予郡双海町大字上灘甲5821	(勤)0899-86-1111
	守谷	和	久	㈱都市計画研究所	(勤)799-01	川之江市妻鳥町144	(勤)0896-58-4538
運営委員	白 石	高	啓	ゆにて設計事務所	(勤)792	新居浜市港町16-20	(勤)0897-33-3028
	松本	勝	之	西条市役所	(勤)793	西条市明屋敷164	(勤)0897-56-515
	村上	寛	仁	生名村役場	(勤)794-25	越智郡生名村621	(勤)0897-76-3000
	井 村	雄	三郎	自 営	(勤)794-11	越智郡関前村岡村	(勤)0897-88-2016
	高須賀	忠	篤	農協中央会松山事務所	(勤)790	松山市三番町5丁目13-6	(勤)0899-48-5620
	青木	光	利	㈱林魏建築設計事務所	(勤)790	松山市三番町5丁目6-2三好ビル301号	(勤)0899-43-379
	牧	秀	宣	農業	(自)791-02	温泉郡重信町北野田663	(自)0899-64-396
	ヘロング	、保田	雅子	㈱バツフォ	(勤)790	松山市畑寺3丁目7-18	(勤)0899-76-664
	渡 邊		智	助愛媛県まちづくり総合センター	(勤)790	松山市道後一万1-2	(勤)0899-25-555
	渡 辺	浩	=	久万町商工会	(勤)791-12	上浮穴郡久万町188	(勤)0892-21-206
	宇都宮	栄	_	久万町役場	(勤)791-12	上浮穴郡久万町大字久万町212	(勤)0892-21-111
	亀 岡		徹	亀岡酒造	(自)795-03	喜多郡五十崎町大字平岡甲1592-1	(自)0893-44-220
	井上	善	_	瀬戸町役場	(勤)796-05	西宇和郡瀬戸町三机3003	(自)0894-52-011
	藤本	_	Ξ	野村町役場	(勤)797-12	東宇和郡野村町大宇野村12-619	(勤)0894-72-1111
	宮本	清	幸	津島町役場	(勤)798-33	北宇和郡津島町岩松甲471	(勤)0895-32-272
	金 原		徹	御荘町役場	(勤)798-41	宇和郡御莊町平城3063	(勤)0895-72-1111
事務局	近 藤		誠	東予市役所	(勤)799-13	東予市周布349-1	(勤)0898-64-2700
	山岡		強	断愛媛県ま ちづくり総合センター	(勤)790	松山市道後一万1-2	(勤)0899-25-5557

今年も早や二月。巷間では、 "東風吹かば、匂いおこせよ梅 の花…" の季節になりました。 しかし、中東の風は、相変わら ず嵐の様相で…。

さて今回は、集落づくりの活動とその展望について、考えてみました。

内容についてのご意見、ご感 想をお待ちしています。

「舞・たうん」編集係 二人の新しいMs. (宇都宮・ 毛利) まで。

₹790

総合センター

TEL

0899 (25) 5557

FAX

0899 (25) 6680